

# 令和2年度「福島県の情報教育の実態等に関する調査」結果

福島県教育センター

## I 調査の目的・内容

この調査は、情報機器を活用した学習指導の推進と当教育センターの情報教育に関する研究の充実及び講座内容の改善を図るため、県内の公立学校における情報教育の実態等を把握するためのものである。

具体的には、「ICTの活用状況」、「情報モラル」、「情報セキュリティ」、「小学校プログラミング教育」について調査した。

## II 調査の方法

### 1 対象

休業校等を除いた本県の公立小学校414校、中学校216校、義務教育学校3校、高等学校87校、特別支援学校19校、計736校を対象として実施し、回答率は100%であった。

※ 義務教育学校は小・中学校それぞれで集計した。

### 2 実施期間

令和2年4月23日(木)～ 5月21日(木)

※この調査は、令和元年度の情報教育の実態等について回答していただいたものである。

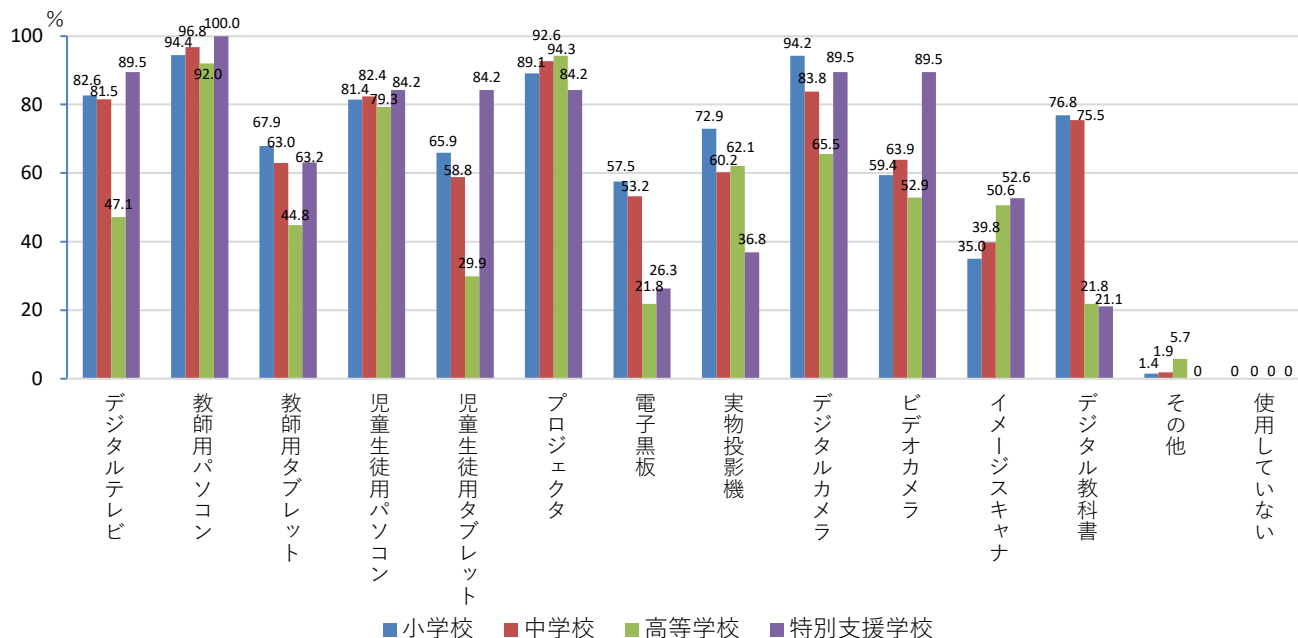
## III 調査結果

### 1 ICTの活用状況について

(1) ① 教科指導において、どのようなICT機器・教具を使用しましたか。(複数回答可)

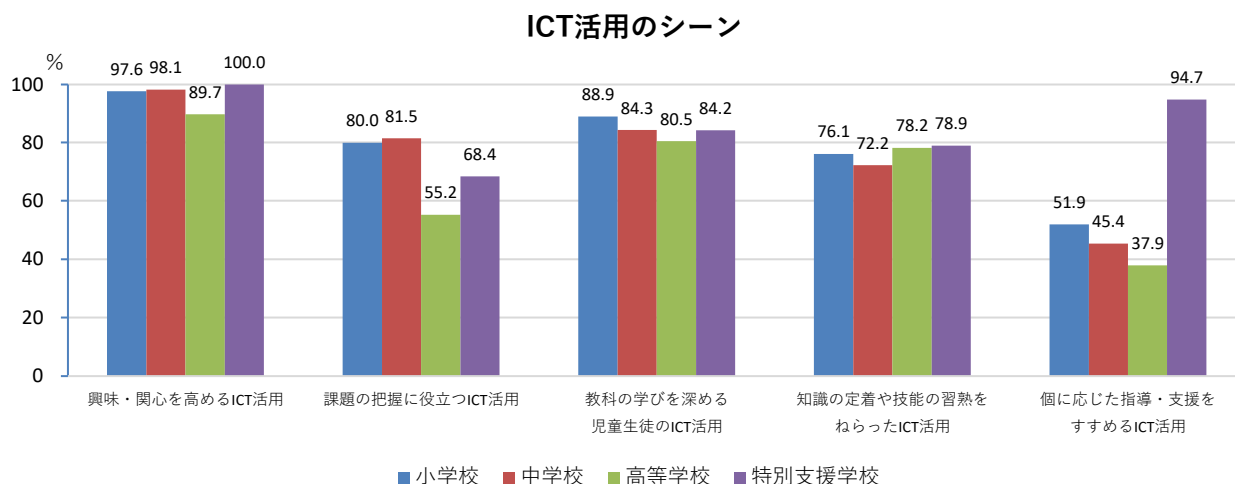
- |             |                |            |
|-------------|----------------|------------|
| ア デジタルテレビ   | イ 教師用パソコン      | ウ 教師用タブレット |
| エ 児童生徒用パソコン | オ 児童生徒用タブレット   | カ プロジェクタ   |
| キ 電子黒板      | ク 実物投影機(書画カメラ) | ケ デジタルカメラ  |
| コ ビデオカメラ    | サ イメージスキャナ     | シ デジタル教科書  |
| ス その他       | セ 使用していない      |            |

ICT校内活用状況



全校種において「教師用パソコン」、「児童生徒用パソコン」、「プロジェクタ」の活用割合が高い。「デジタル教科書」は、小学校、中学校において活用割合が高い。

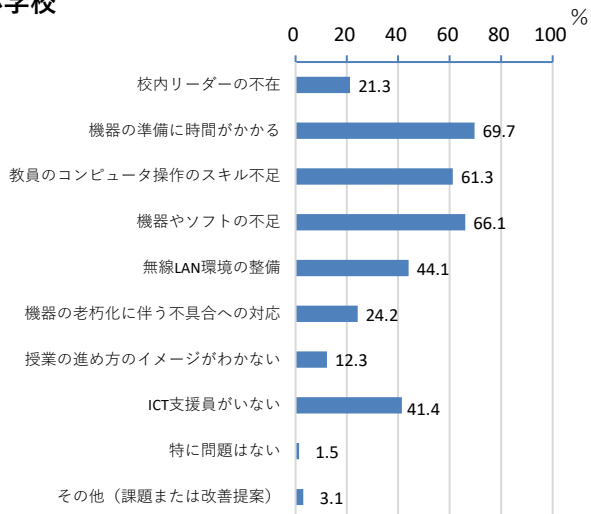
- (1) ② ①で使用した学校のみ、お答えください。  
 教科指導におけるICTの活用シーンはどれですか。（複数回答可）
- ア 興味・関心を高めるICT活用
  - イ 課題の把握に役立つICT活用
  - ウ 教科の学びを深める児童生徒のICT活用
  - エ 知識の定着や技能の習熟をねらったICT活用
  - オ 個に応じた指導・支援をすすめるICT活用



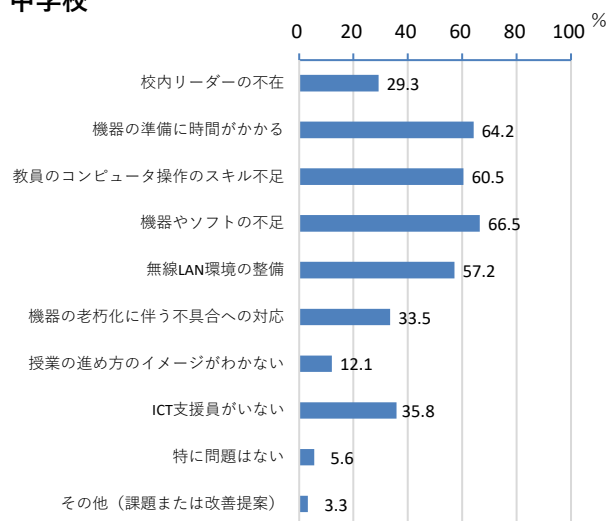
全校種において「興味・関心を高めるICT活用」、「教科の学びを深める児童生徒のICT活用」の割合が高い。「個に応じた指導・支援をすすめるICT活用」は、特別支援学校が94.7%であるがその他の校種は低い。

- (1) ③ 日頃の授業において、ICT機器・教具を使用する際の課題はどのようなことですか。（複数回答可）
- ア 校内リーダーの不在
  - イ 機器の準備に時間がかかる
  - ウ 教員のコンピュータ操作のスキル不足
  - エ 機器やソフトの不足
  - オ 無線LAN環境の整備
  - カ 機器の老朽化に伴う不具合への対応
  - キ 授業の進め方のイメージがわからない
  - ク ICT支援員がいない
  - ケ 特に問題はない
  - コ その他（課題または改善提案）
- ④ ③で「コ その他」を選択した学校は、その内容をお書きください。

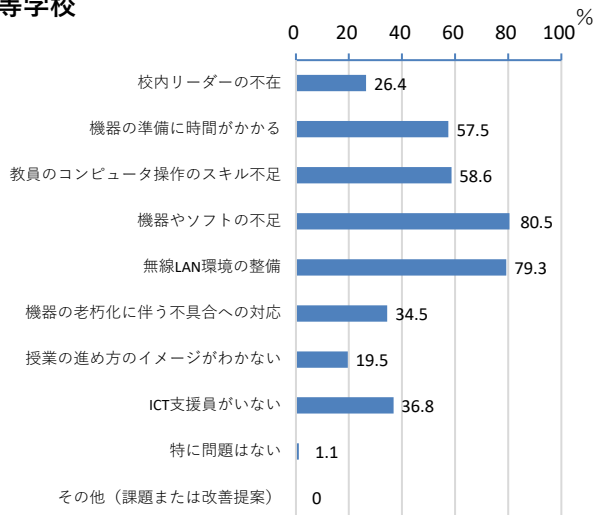
#### 小学校



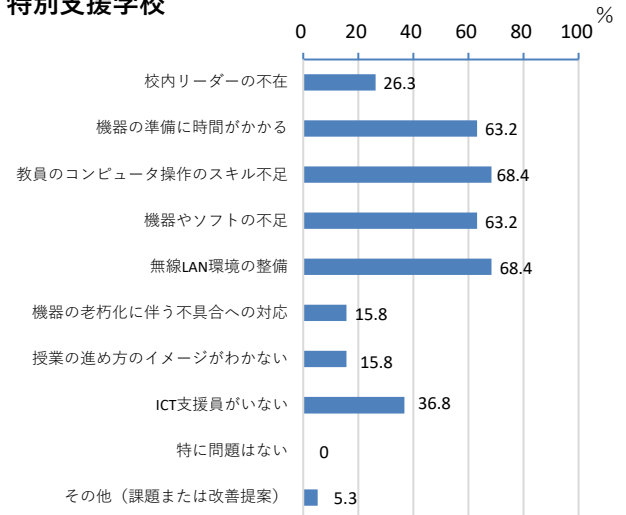
#### 中学校



## 高等学校



## 特別支援学校



全校種において「機器の準備に時間がかかる」、「教員のコンピュータ操作のスキル不足」、「機器やソフトの不足」、「無線LAN環境の整備」が課題となっている。

「コ その他」の主な記述事項は、以下のとおりである。

- ・運用規定による制限で活用に支障がある（7校）
- ・機器の老朽化に伴う不具合への対応，ICT機器の更新（7校）
- ・通信速度や接続等のインターネット回線の不具合（3校）
- ・研修時間の確保（2校）
- ・セキュリティの確保

(2) ① 令和元年度，校務において「ふくしま教育クラウドサービス（FCS）」を使用しましたか。

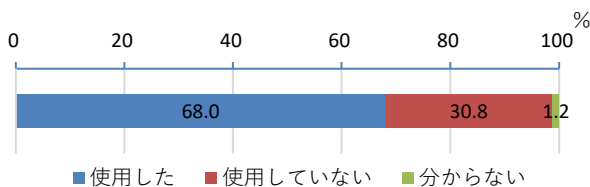
※ ふくしま教育クラウドサービスとは，G Suite for Educationを利用したクラウド型グループウェアです。

ア 使用した

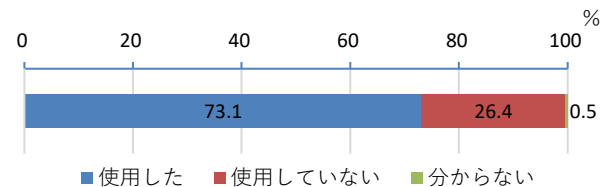
イ 使用していない

ウ 分からない

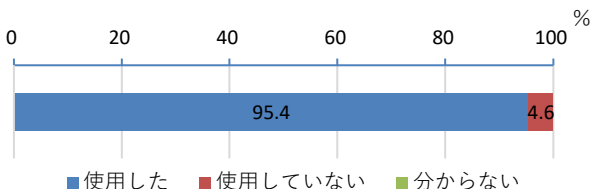
### 小学校



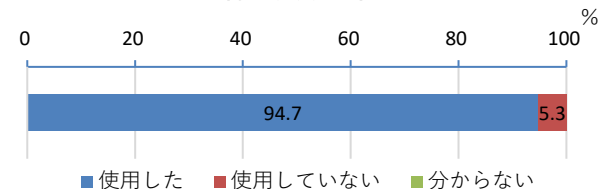
### 中学校



### 高等学校



### 特別支援学校



高等学校，特別支援学校でのFCSの使用率は約95%となっている。小学校，中学校では約30%の学校が使用していない。

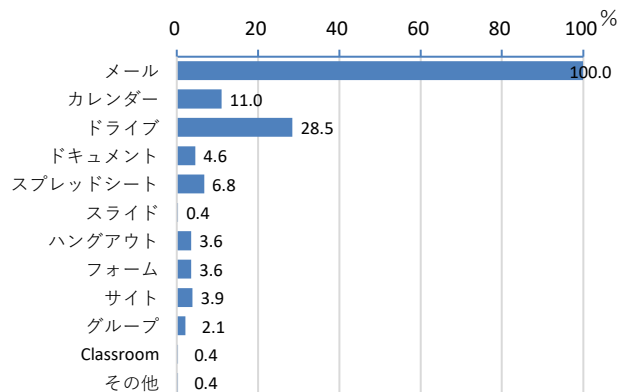
(2) ② ①で「ア 使用した」を選択した学校のみ、お答えください。

校務で使用したG Suiteのアプリはどれですか。（複数回答可）

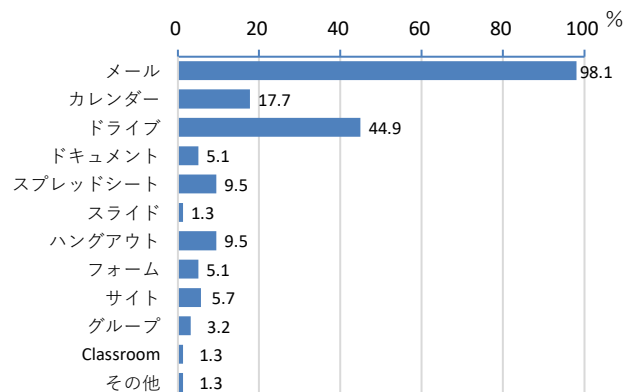
- |          |             |        |
|----------|-------------|--------|
| ア メール    | イ カレンダー     | ウ ドライブ |
| エ ドキュメント | オ スプレッドシート  | カ スライド |
| キ ハングアウト | ク フォーム      | ケ サイト  |
| コ グループ   | サ Classroom | シ その他  |

③ ②で「シ その他」を選択した学校は、その内容をお書きください。

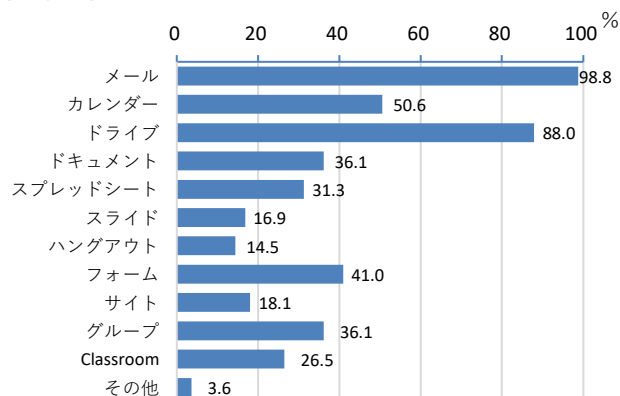
### 小学校



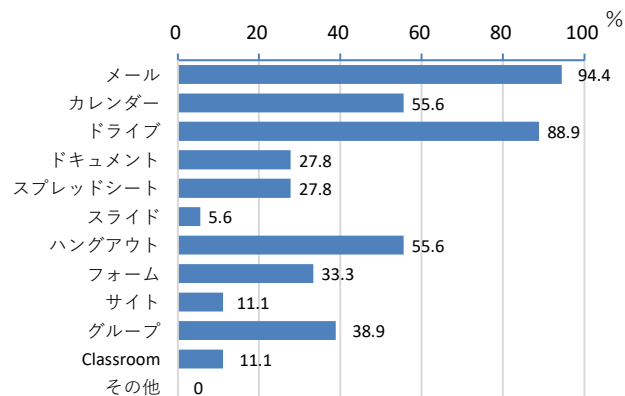
### 中学校



### 高等学校



### 特別支援学校



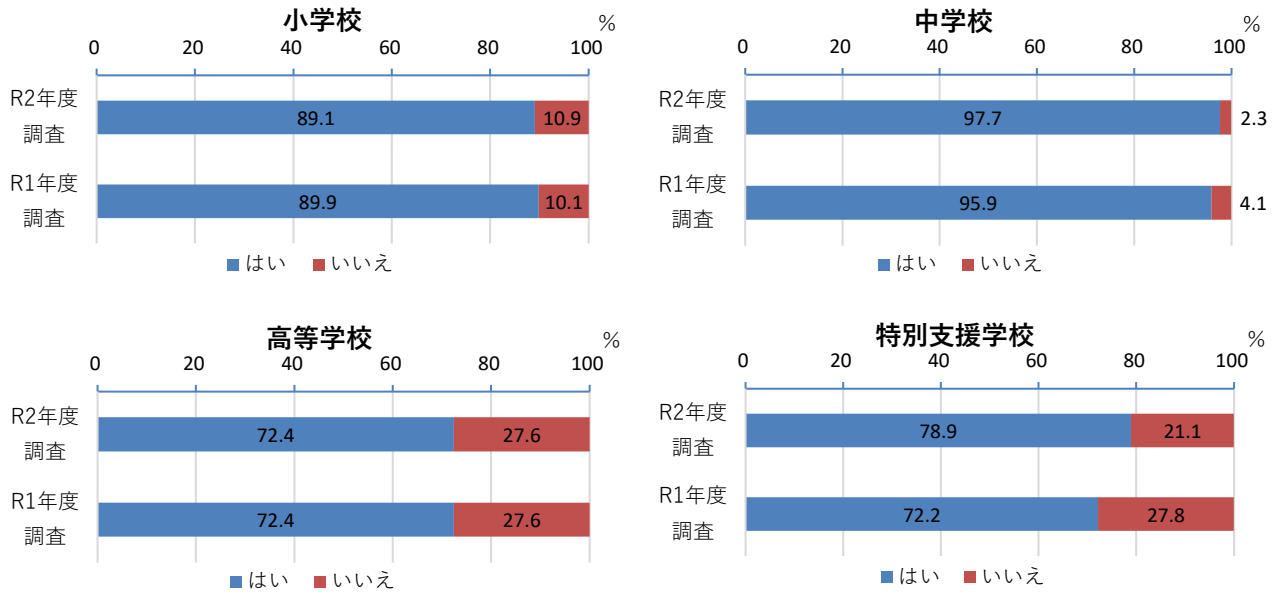
全校種において「メール」の活用割合が高い。高等学校，特別支援学校は，複数のアプリを使う割合が，小学校，中学校と比較して高い。

「シ その他」に記述されたアプリは，以下のとおりである。

- ・ Meet (3校)
- ・ Keep

## 2 情報モラルについて

- (1) ① 令和元年度、児童生徒のスマートフォン等に関する独自調査(実態把握調査)を行いましたか。  
 ア はい イ いいえ  
 ② ①で「イ いいえ」を選択した学校は、その理由をお書きください。



小学校、中学校では、9割程度、高等学校、特別支援学校では、7割程度で実施している。

「イ いいえ」を選択した主な理由は、以下のとおりである。

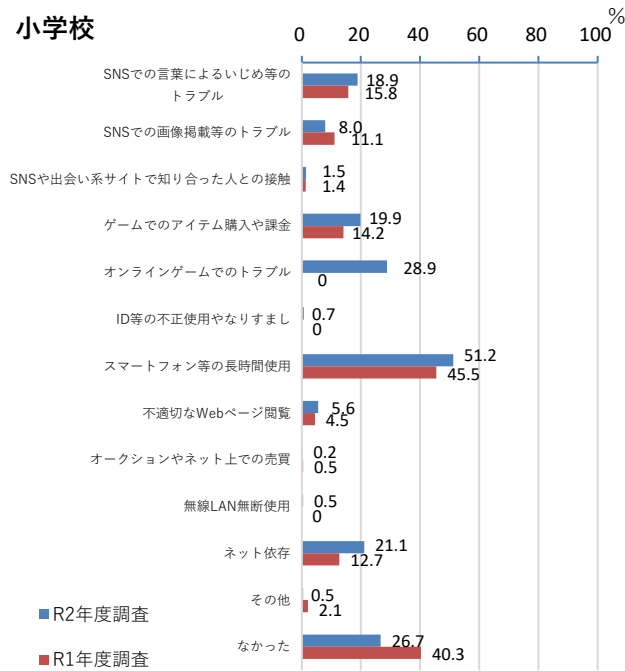
- ・外部調査(教育委員会・校長会等)で実施している(15校)
- ・特に問題がなく、必要性を感じない(11校)
- ・計画されていない(9校)
- ・児童・生徒数が少なく、実態が把握できる(8校)
- ・ほぼ児童・生徒全員が所持している(7校)
- ・個別面談(教育相談等)で把握している(3校)
- ・色々な場面で指導しているため(4校)
- ・所持している児童生徒が少ない、所持率が低い(3校)
- ・生活やいじめに関するアンケートで把握している
- ・時間の余裕がない
- ・経済的理由で持たない生徒がいるため
- ・休校等で実施する時期を逃したため

- (2) ① 令和元年度、児童生徒がスマートフォン等でのインターネット利用において、どのような問題が発生しましたか。(複数回答可)

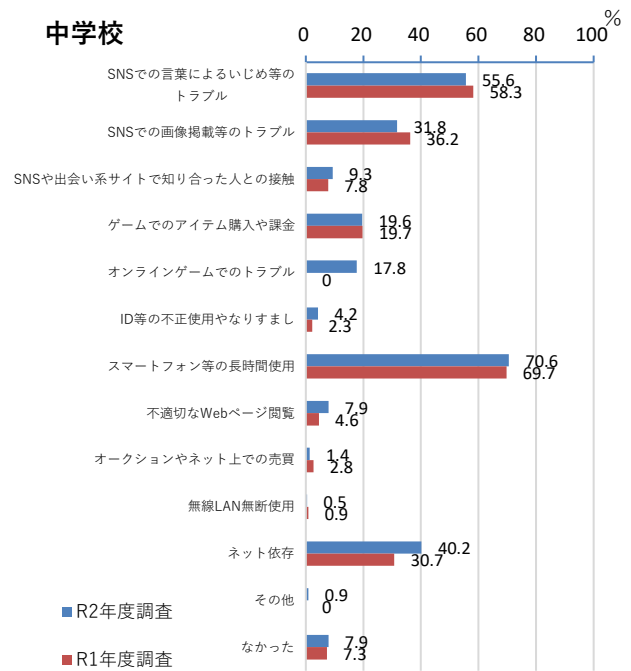
- |  |                   |
|--|-------------------|
| ア SNS(LINEやTwitterなど)での言葉によるいじめ等のトラブル    | オ オンラインゲームでのトラブル  |
| イ SNS(LINEやTwitterなど)での画像掲載等のトラブル        | キ スマートフォン等の長時間使用  |
| ウ SNS(LINEやTwitterなど)や出会い系サイトで知り合った人との接触 | ケ オークションやネット上での売買 |
| エ ゲームでのアイテム購入や課金                         | サ ネット依存           |
| カ ID等の不正使用やなりすまし                         | ス なかった            |
| ク 不適切なWebページ閲覧                           |                   |
| コ 無線LAN無断使用                              |                   |
| シ その他                                    |                   |

- ② ①で「シ その他」を選択した学校は、その内容をお書きください。

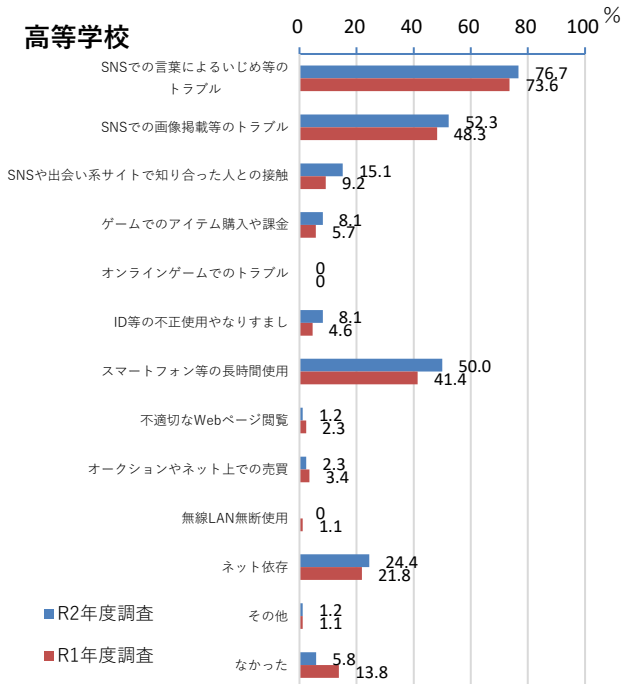
### 小学校



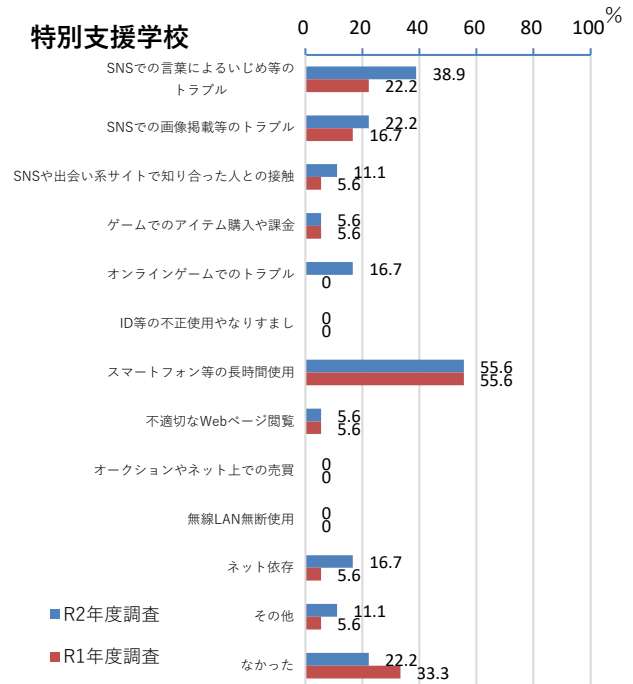
### 中学校



### 高等学校



### 特別支援学校



全校種において、SNSに関するトラブルが発生している。さらに、スマートフォン等の長時間使用の割合が高い。小学校、高等学校、特別支援学校では、問題のなかった学校の割合がR1年度調査と比較して減少している。

「シ その他」を選択した主な理由は、以下のとおりである。

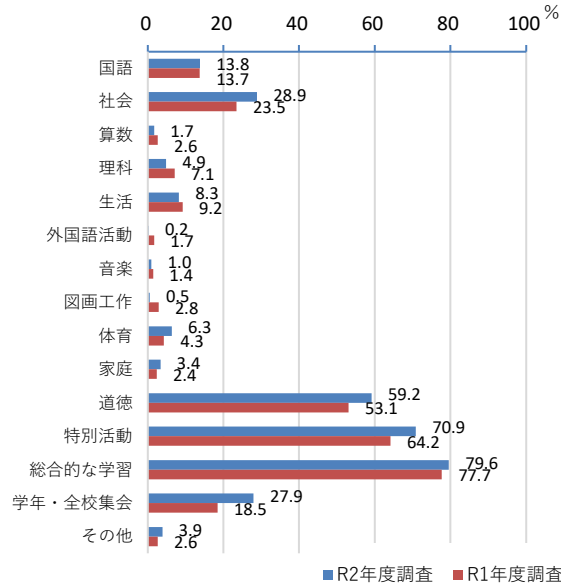
- ・チェーンメールの送信 (2校)
- ・動画サイトへの投稿 (2校)
- ・オリジナルランキングでのトラブル



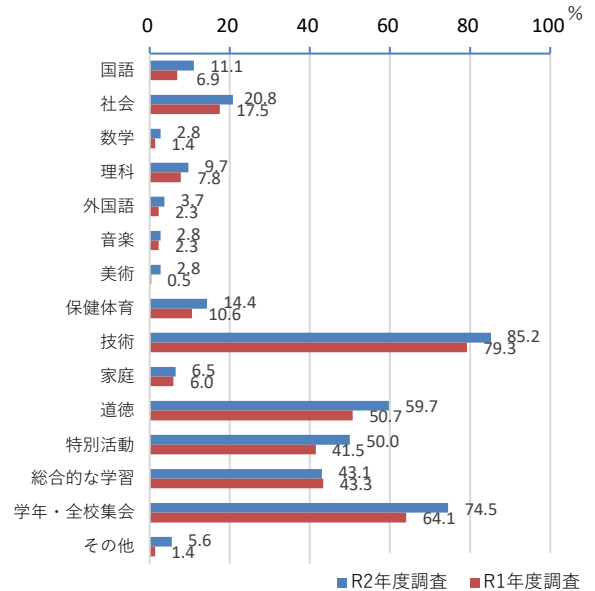
(4) ② ①で「ア 指導計画を基に、計画的に指導した」、「イ 指導計画はないが、必要に応じて指導した」を選択した学校は、どの時間に指導しましたか。(複数回答可)

- |                           |              |             |              |
|---------------------------|--------------|-------------|--------------|
| ア 国語                      | イ 社会、地理歴史・公民 | ウ 算数、数学     | エ 理科         |
| オ 生活                      | カ 外国語(外国語活動) | キ 音楽        | ク 図画工作、美術、工芸 |
| ケ 体育、保健体育                 | コ 技術、情報      | サ 家庭        | シ 書道         |
| ス 道徳                      | セ 特別活動       | ソ 総合的な学習の時間 |              |
| タ 農業・水産・工業・商業・福祉・看護等の専門教科 | チ 学年・全校の集会等  | ツ その他       |              |

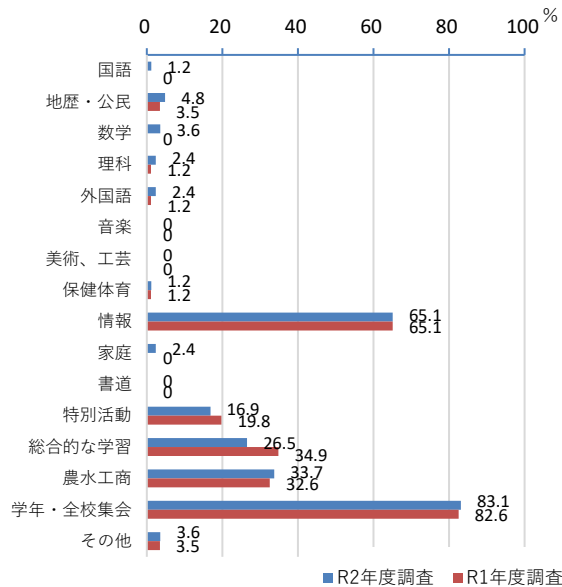
### 小学校



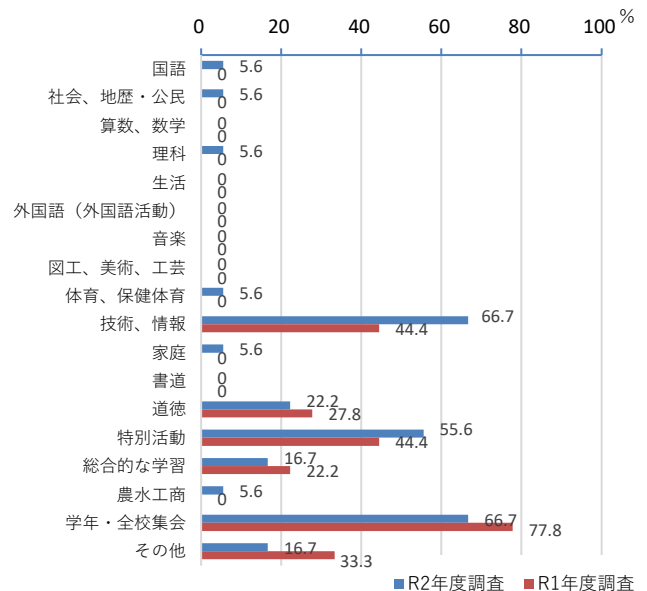
### 中学校



### 高等学校



### 特別支援学校

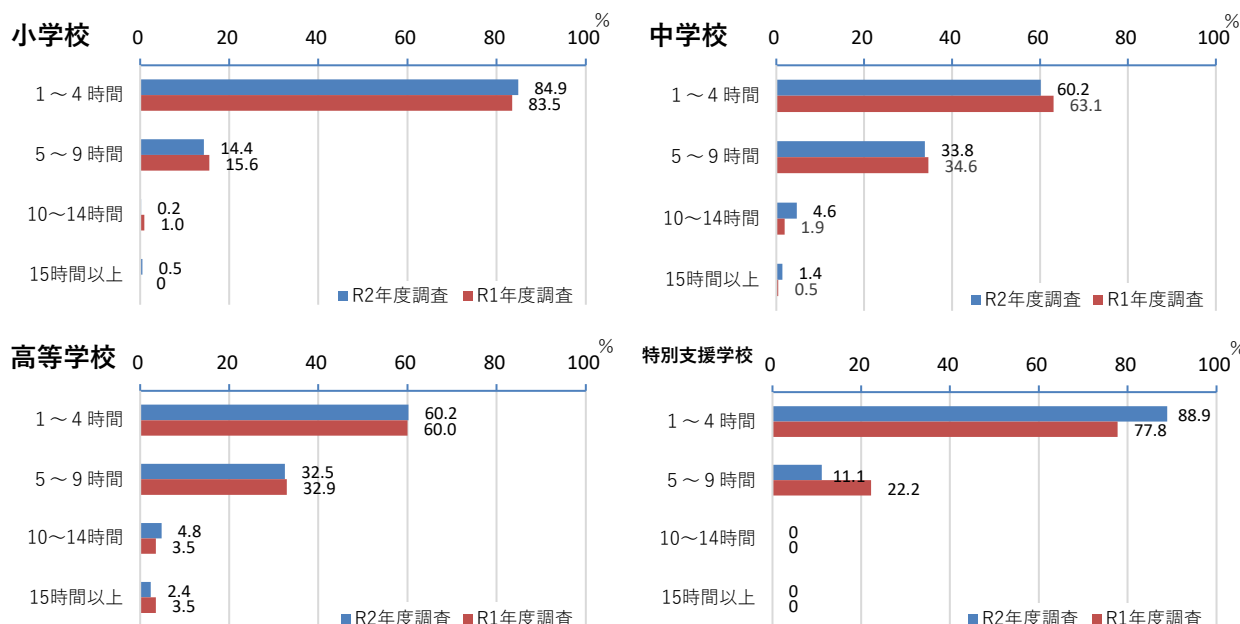


小学校では、「道徳」、「特別活動」、「総合的な学習の時間」、中学校では、「技術」、「道徳」、「特別活動」、「学年・全校集会」で指導する割合が高い。高等学校では、「情報」、「学年・全校集会」、特別支援学校では、「技術、情報」、「特別活動」、「学年・全校集会」で指導する割合が高い。



(4) ③ ①で「ア 指導計画を基に、計画的に指導した」、「イ 指導計画はないが、必要に応じて指導した」を選択した学校は、令和元年度は何単位時間程度取り組みましたか。  
(学年によって違いがありますが、平均した数値でお答えください。)

ア 1～4時間      イ 5～9時間      ウ 10～14時間      エ 15時間以上

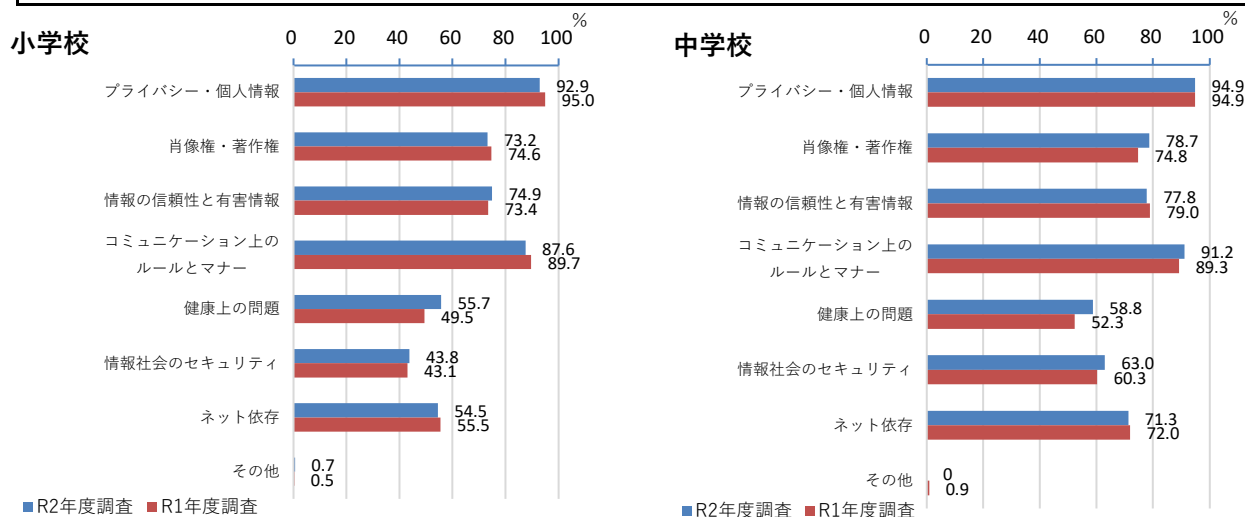


情報モラルの指導時間は、全校種において「1～4時間」が最も多い。

(4) ④ ①で「ア 指導計画を基に、計画的に指導した」、「イ 指導計画はないが、必要に応じて指導した」を選択した学校は、その内容をお答えください。(複数回答可)

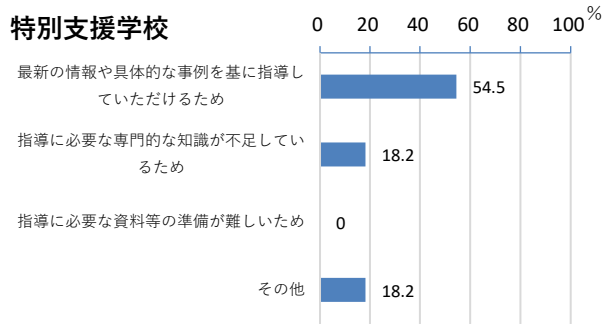
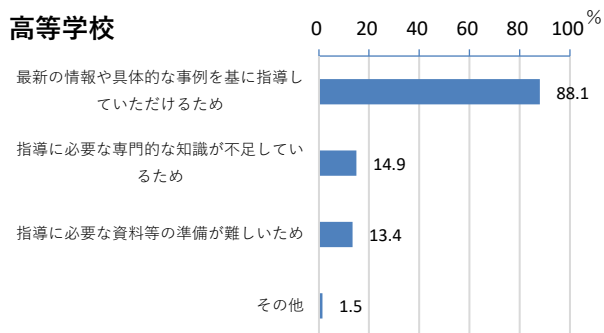
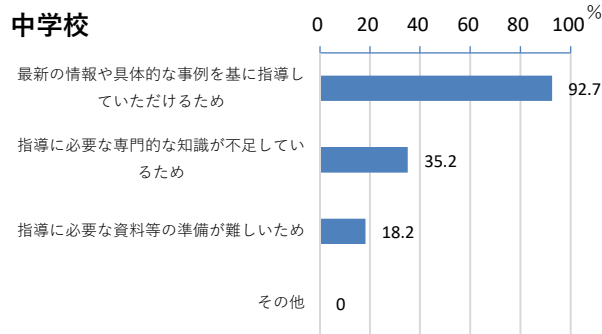
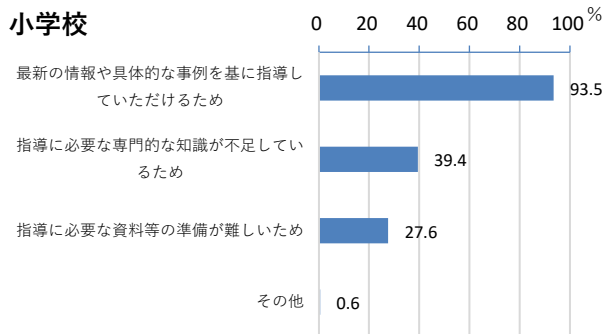
ア プライバシー・個人情報      イ 肖像権・著作権      ウ 情報の信頼性と有害情報  
 エ コミュニケーション上のルールとマナー      オ 健康上の問題      カ 情報社会のセキュリティ  
 キ ネット依存      ク その他

⑤ ④で「ク その他」を選択した学校は、指導した内容をお書きください。





(4) ⑦ ⑥で「イ 外部講師を依頼（警察）」「ウ 外部講師を依頼（その他）」を選択した学校は、理由をお答えください。（複数回答可） ※ この調査は、令和2年度より実施  
 ア 最新の情報や具体的な事例を基に指導していただけるため  
 イ 指導に必要な専門的な知識が不足しているため  
 ウ 指導に必要な資料等の準備が難しいため  
 エ その他  
 ⑧ ⑦で「エ その他」を選択した学校は、理由をお書きください。



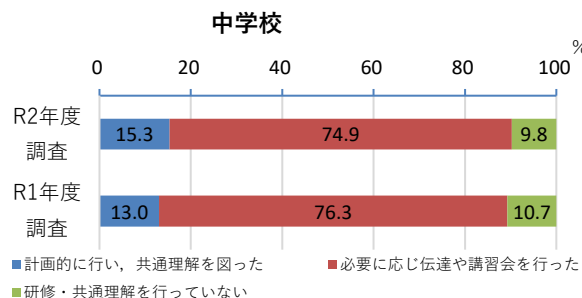
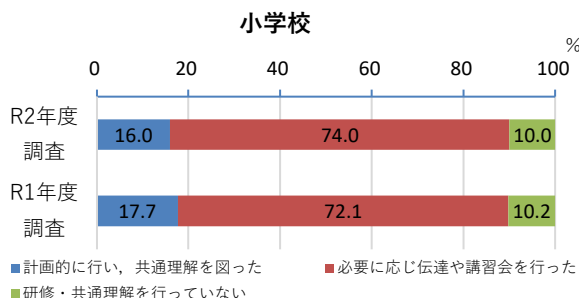
全校種において「最新の情報や具体的な事例を基に指導していただけるため」の割合が高い。

「エ その他」を選択した学校の主な記述は、以下のとおりである。

- ・ 第三者による講演を実施することで、授業等と同じ内容でも生徒への定着度は高まるため
- ・ 触れにくい部分にも触れて指導できるため
- ・ 近隣の学校で一緒に受講した
- ・ より専門的なことを学ぶことができるため

(5) 令和元年度の情報モラルに関する校内研修についてお答えください。

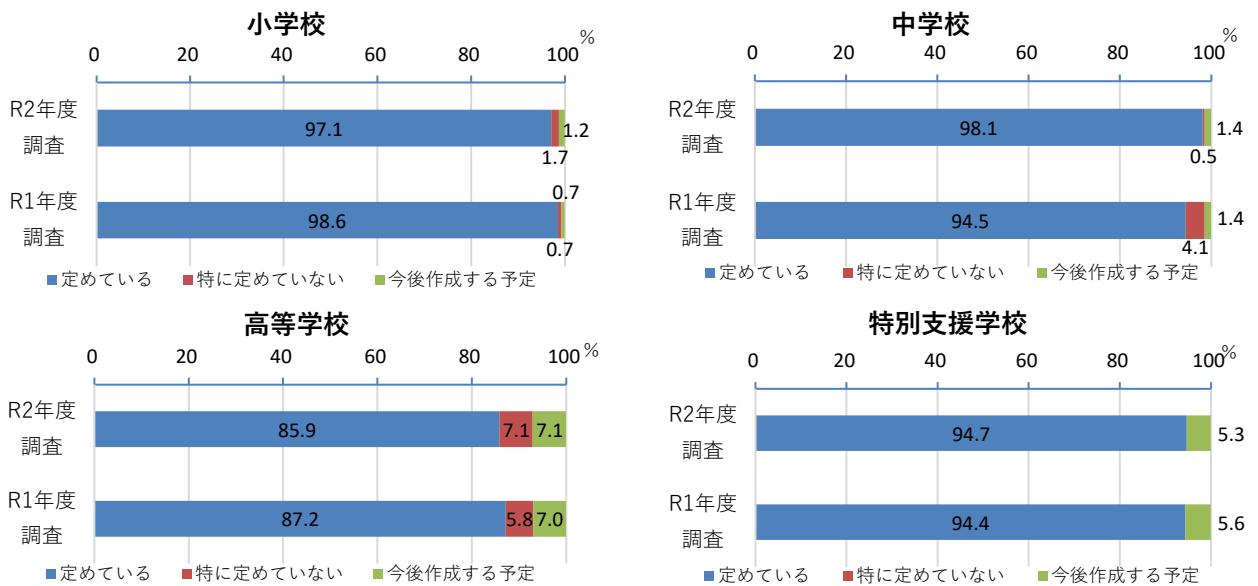
- ア 教職員対象の校内研修を計画的に行い、共通理解を図った  
 イ 教職員に対する研修計画はなかったが、必要に応じて情報を伝達したり、講習会を行ったりした  
 ウ 教職員には特に研修・共通理解等を行ってはいない





### 3 情報セキュリティについて

(1) ① 令和元年度末において、情報セキュリティに関する校内運用規定を定めていますか。  
 ア 定めている      イ 特に定めていない      ウ 現在は定めていないが、今後作成する予定



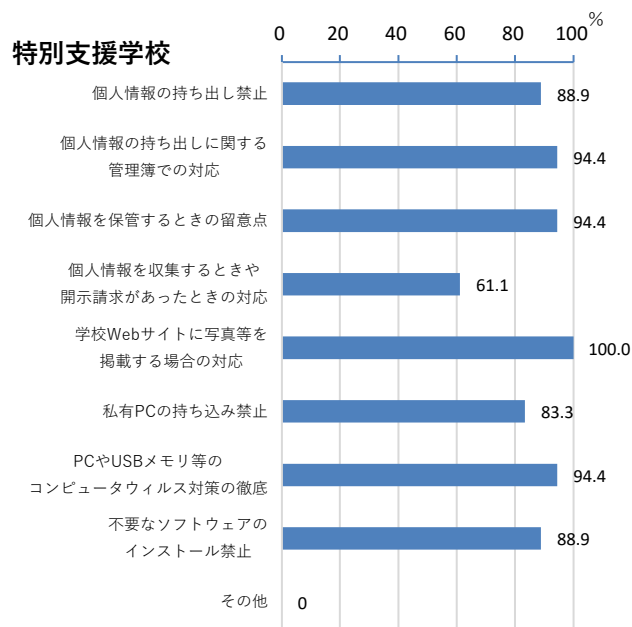
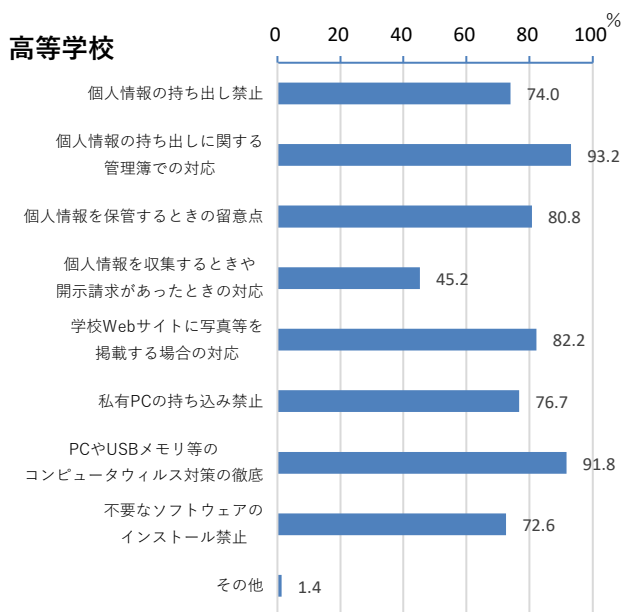
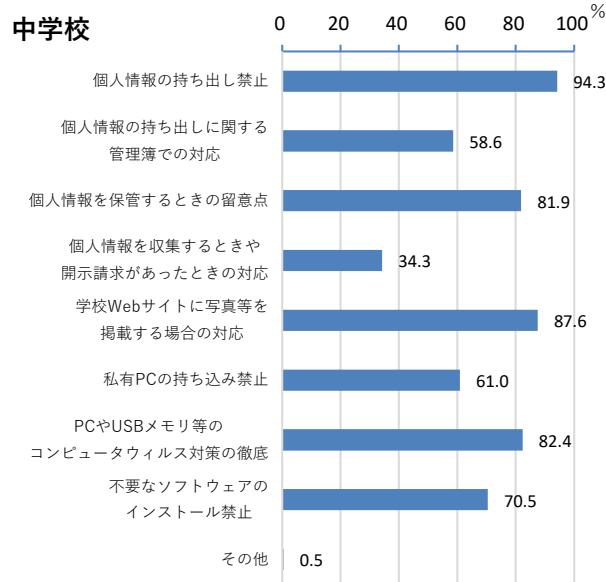
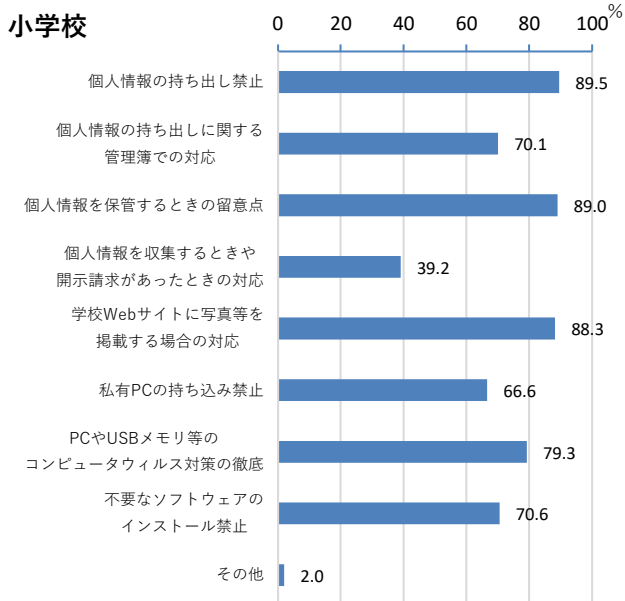
全校種において約9割が「定めている」と回答している。

(1) ② ①で「ア 定めている」を選択した学校は、主に規定している内容をお答えください。(複数回答可)

※ ここでいう個人情報とは、紙や電子データとして記録された、児童生徒や保護者及び教職員に関する氏名や生年月日、その他の個人を識別することができる情報のことです。また、直接、個人が識別できなくとも他の情報と照合することで個人を識別できる情報も含まれます。(「福島県個人情報保護条例第二条一項」に規定)

- ア 個人情報の持ち出し禁止
- イ 個人情報の持ち出しに関する管理簿での対応
- ウ 個人情報を保管するときの留意点
- エ 個人情報を収集するときや開示請求があったときの対応
- オ 学校Webサイトに写真等を掲載する場合の対応
- カ 私有PCの持ち込み禁止
- キ PCやUSBメモリ等のコンピュータウイルス対策の徹底
- ク 不要なソフトウェアのインストール禁止
- ケ その他

③ ②で「ケ その他」を選択した学校は、その内容をお書きください。

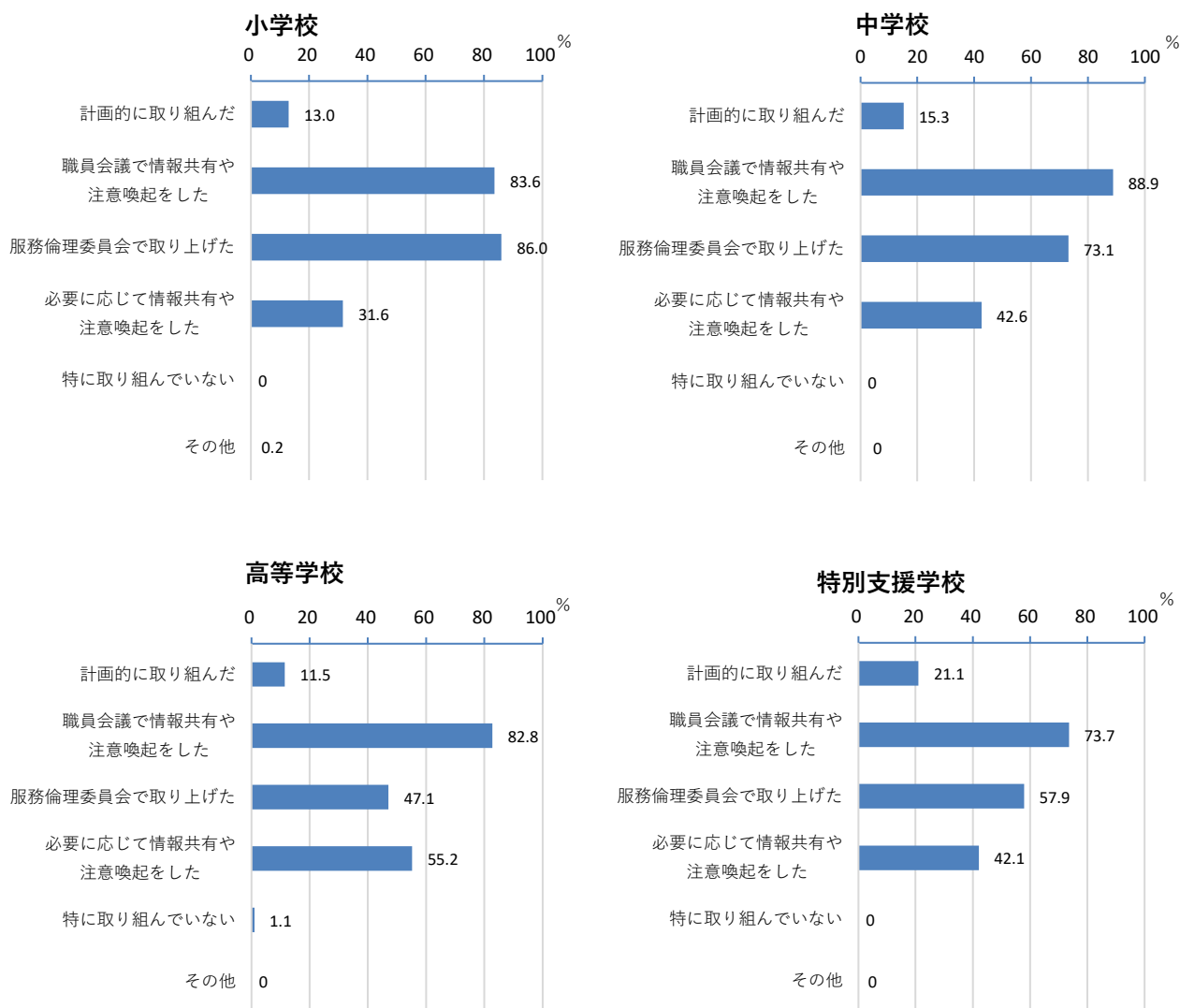


小学校、中学校では「個人情報の持ち出し禁止」、高等学校では「個人情報の持ち出しに関する管理簿での対応」、特別支援学校では「学校Webサイトに写真等を掲載する場合の対応」の割合が高い。

「ケ その他」の主な記述は、以下のとおりである。

- ・ 個人情報保護管理体制に関する規程（3校）
- ・ 児童，保護者との私的なSNS等の禁止
- ・ 電子メール，インターネット利用に関する遵守事項
- ・ 福島県情報セキュリティポリシーの適用

- (2) ① 令和元年度、情報セキュリティに関して、校内でどのように取り組みましたか。（複数回答可）
- ア 校内研修等を通して、計画的に取り組んだ
  - イ 職員会議で情報共有や注意喚起をした
  - ウ 服務倫理委員会で取り上げた
  - エ 校内研修等を行っていないが、必要に応じて情報共有や注意喚起をした
  - オ 特に取り組んでいない
  - カ その他
- ② ①で「カ その他」を選択した学校は、その内容をお答えください。



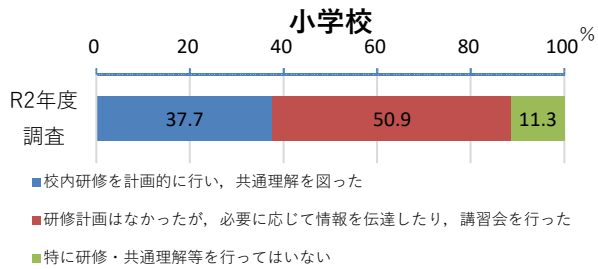
全校種において「職員会議で情報共有や注意喚起をした」割合が高い。

「カ その他」の主な記述は、以下のとおりである。

- ・ 学校保健委員会で取り組んだ

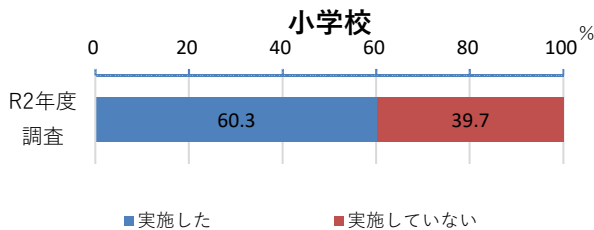
4 小学校プログラミング教育について ※ この調査は、令和2年度より実施

- (1) 令和元年度のプログラミング教育に関する校内研修についてお答えください。
- ア 教職員対象の校内研修を計画的に行い、共通理解を図った
  - イ 教職員に対する研修計画はなかったが、必要に応じて情報を伝達したり、講習会を行ったりした
  - ウ 教職員には特に研修・共通理解等を行ってはいない



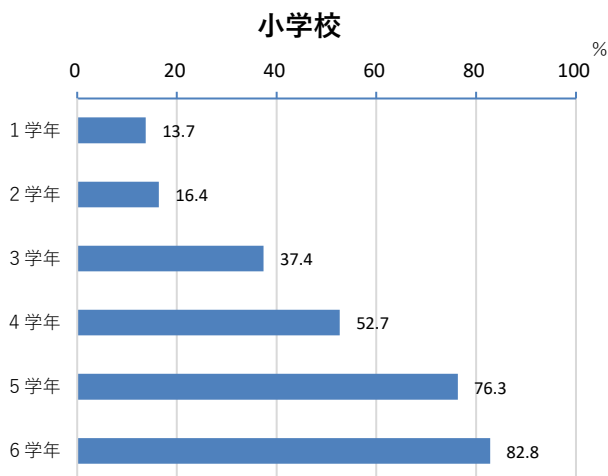
プログラミング教育について「校内研修を計画的に行い、共通理解を図った」、「必要に応じて情報を伝達したり、講習会を行ったりした」を合わせると、約9割で校内研修を実施している。

- (2) ① 令和元年度、児童にプログラミング教育を実施しましたか。
- ア 実施した
  - イ 実施していない



プログラミング教育を「実施した」と60.3%の学校が回答している。

- (2) ② ①で「ア 実施した」を選択した学校は、どの学年で指導しましたか。(複数回答可)
- ア 1学年
  - イ 2学年
  - ウ 3学年
  - エ 4学年
  - オ 5学年
  - カ 6学年

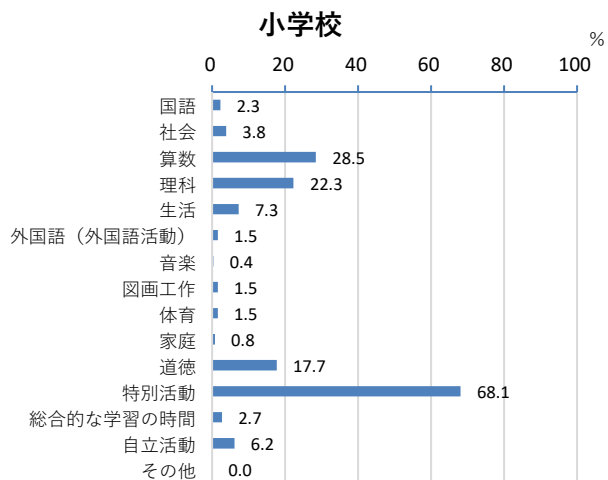


小学校では4～6学年で実施している割合が高い。



(2) ③ ①で「ア 実施した」を選択した学校は、どの時間に指導しましたか。(複数回答可)

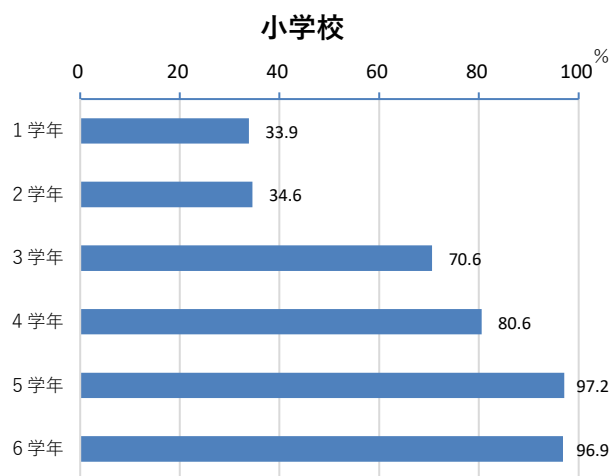
- |             |               |       |        |
|-------------|---------------|-------|--------|
| ア 国語        | イ 社会          | ウ 算数  | エ 理科   |
| オ 生活        | カ 外国語 (外国語活動) | キ 音楽  | ク 図画工作 |
| ケ 体育        | コ 家庭          | サ 道徳  | シ 特別活動 |
| ス 総合的な学習の時間 | セ 自立活動        | ソ その他 |        |



「算数」、「理科」、「特別活動」での指導が多い。

(3) 令和2年度、どの学年でプログラミング教育を実施する予定ですか。(複数回答可)

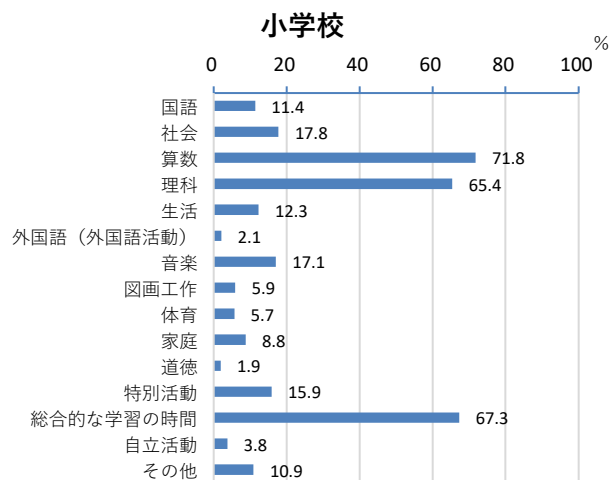
- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| ア 1学年 | イ 2学年 | ウ 3学年 |
| エ 4学年 | オ 5学年 | カ 6学年 |



3～6学年で実施する予定の割合が高い。

(4) 令和2年度、どの時間にプログラミング教育を実施する予定ですか。(複数回答可)

ア 国語	イ 社会	ウ 算数	エ 理科
オ 生活	カ 外国語(外国語活動)	キ 音楽	ク 図画工作
ケ 体育	コ 家庭	サ 道徳	シ 特別活動
ス 総合的な学習の時間	セ 自立活動	ソ その他	

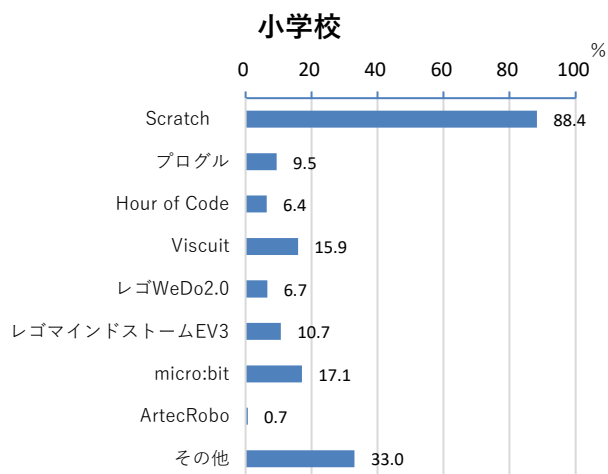


「算数」、「理科」、「総合的な学習の時間」で実施する予定の割合が高い。

(5) ① 令和2年度、どの教材で指導する予定ですか。(複数回答可)

ア Scratch	イ プログル	ウ Hour of Code
エ Viscuit	オ レゴWeDo2.0	カ レゴマインドストームEV3
キ micro:bit	ク ArtecRobo	ケ その他

② ①で「カ その他」を選択した学校は、その内容をお答えください。



「ケ その他」の主な記述は、以下のとおりである。

- ・ ジャストスマイル (37校)
- ・ mBot (27校)
- ・ pepper (10校)
- ・ mBlock Blockly (6校)
- ・ MESH (7校)
- ・ PROTCH (6校)
- ・ 出版社のデジタルコンテンツ (6校)
- ・ Robo Blocks (5校)
- ・ アンプラグドによる教材 (5校)
- ・ Edu town (4校)
- ・ プログラミングカー (学研) (4校)